

一般質問通告書

平成27年第3回議会定例会（平成27年9月）

質問者（5名）

- ① 松元道芳
 - ② 名間武忠
 - ③ 山崎賢治
 - ④ 奥山直武
 - ⑤ 福井源乃介
-



知名町議会

通告順	議席8番	松元道芳	平成27年 9月 日
1			時 分～ 時 分

1. 沖永良部～沖縄航空路線再開設について

現在、沖永良部～沖縄の空路は運休が続いている。平成26年度から群島民悲願の奄振による交付金で50%～65%の運賃割引で、群島民は大きな恩恵を受けている。

今年10月26日から3月26日までの期間 JAL グループの連携により沖縄～奄美・与論の路線も加わることとなった。

沖縄～奄美大島 18,900円から15,700円に

沖縄～与論 15,900円から11,950円に

この機会に是非開設すべきだと思うが、町長の所感はいかに。

2. 鹿児島認定ブランド「えらぶゆり」球根の本年度の生産状況について

鹿児島認定ブランド「えらぶゆり」球根について、次の点について伺います。

- ① 球根の生産量、売上金額。
- ② 球根の島外出荷の量。
- ③ 在庫になっている量。
- ④ 町としてどういう対策を計画しているのか。

3. 町営住宅家賃について

- ① 家賃の算出方法。
- ② 平成27年度の家賃算出は何月から何月までの期間なのか。
- ③ 徴収開始はいつからか。
- ④ 滞納状況は。
- ⑤ 滞納対策はどうしているのか。

4. 高齢者向け健康遊具施設の設置について

今、日本は高齢化が急速に進んでいる。本町も同様であるが、さらに日本一元気な高齢者になってもらう一例として、グラウンドゴルフ大会が盛んに行われているが参加できない方も多い。そこで高齢者(一般も)向け健康遊具施設を設置し気力度・体力度アップにつなげられればと思うが、町として設置の考えはないか。

メモ

通告順	議席3番	名間武忠	平成27年 9月 日
2			時 分～ 時 分

1. 書店の誘致(開店)について

町内の書店が閉店して久しいが、今年6月末には隣町の書店も閉店となり、島内の利用者に不便を来している状況になっている。

書店の経営は、島内の人口・利用状況から難しいようで、特に書店単独の経営はなお厳しいようである。

町立図書館について指定管理者制度の導入を図り、図書館と書店を併設する方法はできないかお尋ねします。

2. 字公民館の整備について

字公民館については、平成22年度までに町が事業主体とした21字の全てが終了し、本年度の田皆字からの再整備が実施される。字公民館は、従来の集会施設から新たなコミュニティ施設、災害時の避難拠点施設等としての役割も求められている。一方、建設に当たっては、集落の人口減少や町財政面等をも考慮することが必要と考えられる。逐次計画される字公民館建設の基準となることから次の点についてお尋ねします。

- ① 建設面積はどのように決定するのか。
- ② 付帯工事、備品等についてどのような考えなのか。
- ③ 字負担についてどのような考えなのか。
- ④ 今後の整備計画について。

3. 児童・生徒の健全育成と防犯について

先日、大阪府寝屋川市で発生した事件は、生徒2人が犠牲となる痛ましい結果となった。

この事件は、夜間(深夜)外出、保護者と子の信頼関係、地域社会の無関心等が一因だとも思われる。

将来ある児童・生徒の健全育成、防犯に関し本町の現況、対策についてお尋ねします。

- ① 児童・生徒の夜間外出について
- ② 学校と保護者の連携・情報共有について
- ③ 児童・生徒を事件事故から守る地域の組織体制について

4. 平成27年度主要事業の進捗状況について

平成27年度の各種事業が進められているが、上半期の最終月となり、現時点における主要事業の進捗状況についてお尋ねします。

(資料提出)

メモ

通告順	議席6番	山崎賢治	平成27年 9月 日
3			時 分～ 時 分

1. 知名南西部地区基盤整備事業について

農村整備事業の前倒し事業計画として取り組んできた「知名南西部地区基盤整備事業」も推進準備委員会を立ち上げ、受益者の意向確認同意率の向上に取り組んできたが、結果的に全体面積54.3ヘクタール・導入希望面積38.1ヘクタール・同意率70.2%で終了した。当地区の事業化についてお尋ねします。

- ① 国や県から95%以上の同意率が必要とされているが、当地区の事業化への取り組みについてはどのように考えているのか。
- ② 区画整理後の畑地灌漑整備はどのように考えているのか。
- ③ 事業化の構想やスケジュールはどのように考えているのか。
- ④ 住吉コイン式の給水装置について、地域住民は不便を感じているが何時まで我慢すればよいのかお尋ねします。

2. マイナンバー制度について

この番号制度は社会保障制度や税制のインフラ、また情報化社会の基盤ともされており、行政事務の情報管理や利用を一層効率化して国民の利便性の向上などを目指している制度だが、国民の意識調査の結果、内容の認知度が低く周知が遅れているとの調査結果が出ている。町としてこの制度の周知徹底や情報セキュリティ強化策についてどのように考えているのかお尋ねします。

3. 空き家利活用事業について

「空き家」の有効利用については以前から議論されている課題であるが、遅滞として進んでいないのが現状である。思い切った対策は取れないのか、併せて次の点についてお尋ねします。

- ① 「空き家利活用事業」への補助制度についてはどうなっているのか。
- ② 古民家が多い為、「シロアリ対策」は必要最低条件だと考えるが、その対策はどうなっているのかお尋ねします。
- ③ 公営住宅に「生活実態の無い入居者」がいるとの情報があるが、不正入居に当たらないのかお尋ねします。

メモ

× ㄟ

通告順	議席12番	福井 源乃介	平成27年 9月 日
5			時 分～ 時 分

1. さとうきびの振興対策について

生産農家の高齢化や担い手不足が進んでいる。

調苗や植付け、収穫作業等については、組織化、システム化されているが、管理作業についてはこれからの課題である。開発組合を核とした受託組織の育成、システム化を図る必要がある。

そこで

- ① 中耕作業、培土作業等の受託を行うブルトラ隊の結成をすべきではないか。
- ② 病害虫防除作業、除草作業等の受託をする。ブームスプレーヤー隊の結成をすべきではないか。
- ③ 工場内の精脱機、デトラッシャーの利用料金がトン当たり700円と突出した価格になっている。南栄糖業(株)や関係機関が協議し、糖業振興、生産農家の負担軽減の為に値下げすべきではないか。

2. 道路行政について

- ① 正名地区において、危険な急カーブ、急勾配を解消する為県道改良工事が行われているが、早急に田皆側と正名側を接続して、安心して通れるようにすべきではないか。
- ② 知名正名海岸線(小田線)は、今年度中に屋子母海岸入口まで完了し、残りの区間は次期計画で整備する事になっているが、大津勘橋を含めた整備計画はどうなっているのか。
- ③ 知名古里線の知名ヨコハマタイヤからニシムタにかけての道路は劣化が激しく、早期の改良改修を求める声があがっている。
早急に対処すべきではないか。

× ㄟ

